

前橋市民の健康状況 その1

R3.2.3確定

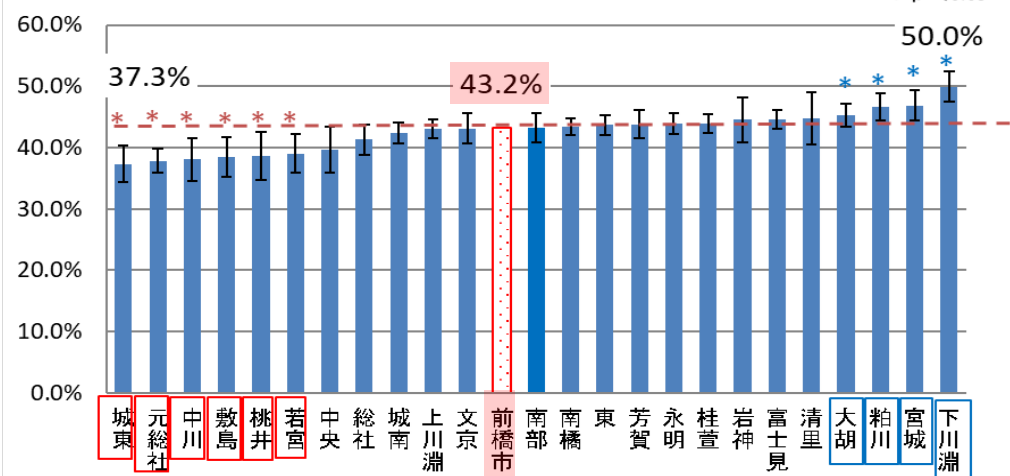
令和元年度の健診等のデータです。＊は市平均と比較し、有意に高い・低いことを示します。成人保健は主に国保特定健診のデータを用いており、一つの健診データではありますが、市民の傾向の把握に役立ちます。また、年齢調整や統計的検定をしていないデータについては、それを考慮して見てください。地区別にすると、課題や対策が検討しやすくなります。みんなで健康づくりに取り組みましょう！



健康まえばし21

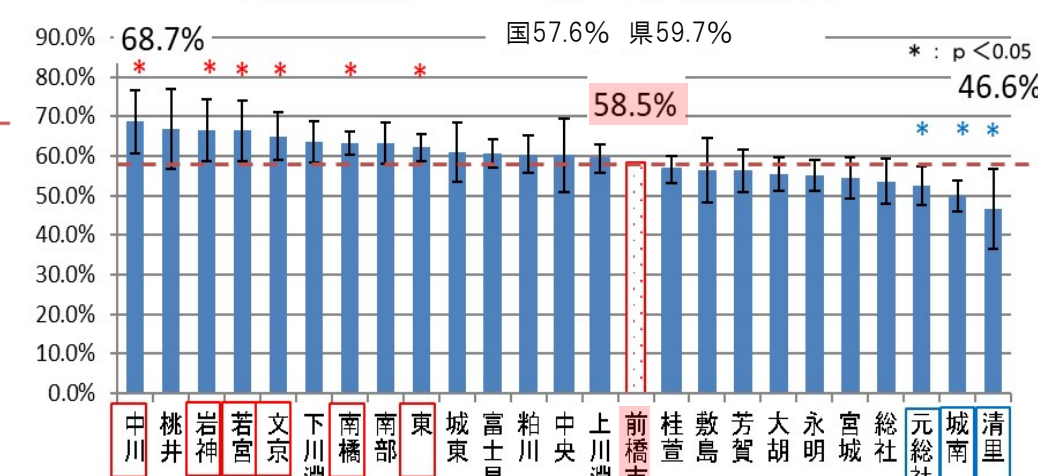
p値(有意確率)が5%以下の場合は有意差ありと見ていることを示します
* : $p < 0.05$

国保特定健診受診率



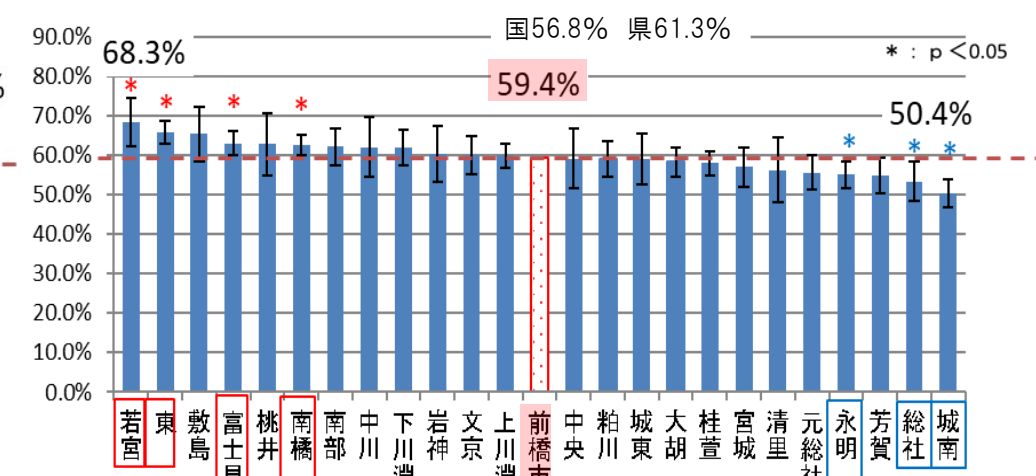
ヘモグロビンエーワンシ(糖尿病の検査項目)

国保特定健診 HbA1c5.6以上の者の割合【男性】

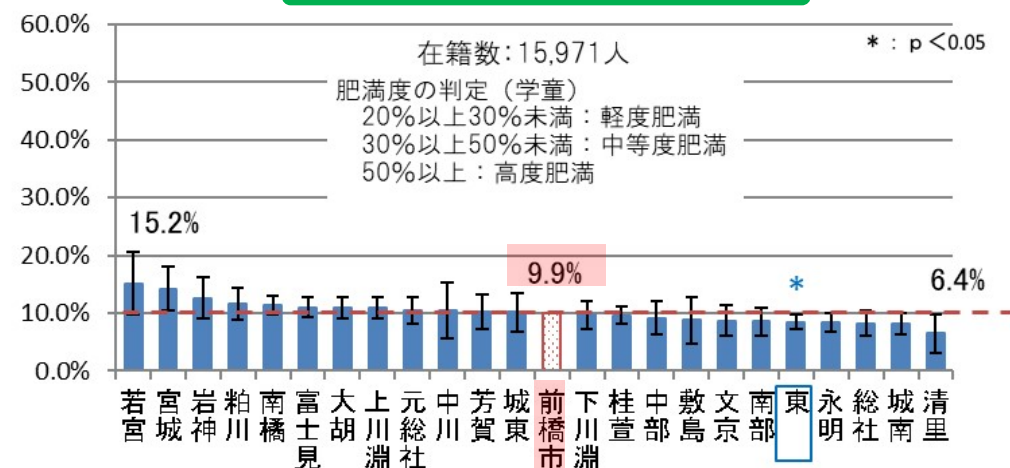


年齢調整

国保特定健診 HbA1c5.6以上の者の割合【女性】

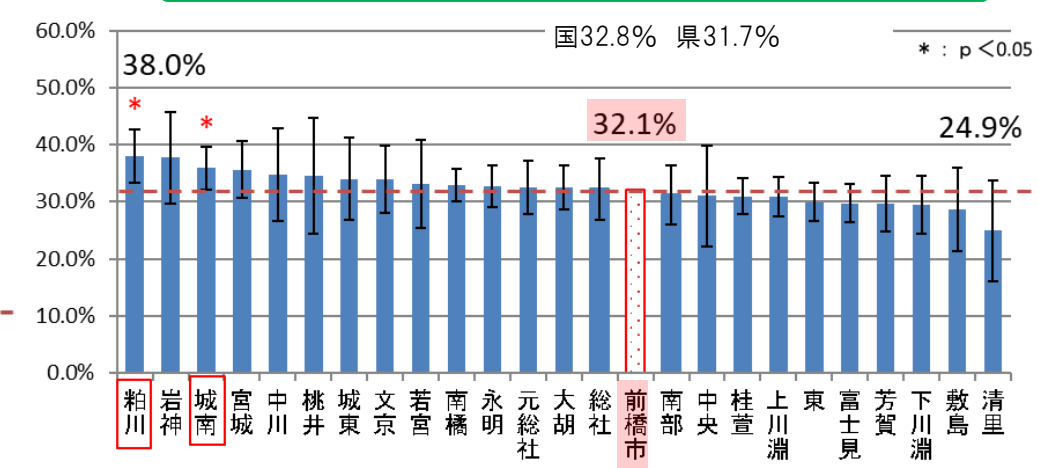


小学生 肥満度20%以上の割合



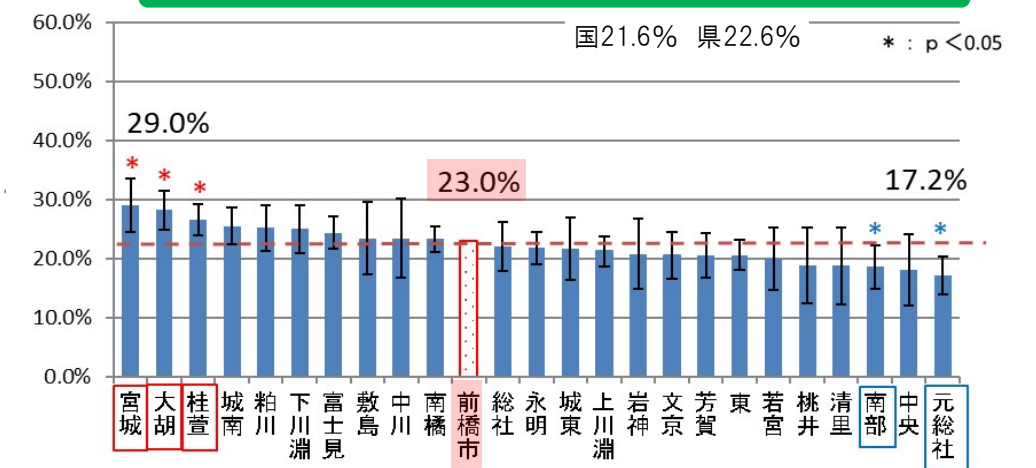
年齢調整

国保特定健診 BMI25以上(肥満)の者の割合【男性】



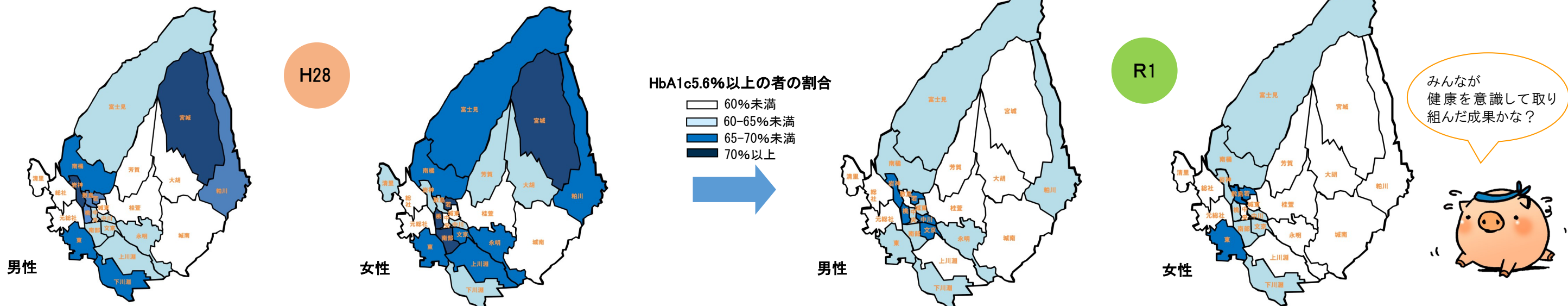
年齢調整

国保特定健診 BMI25以上(肥満)の者の割合【女性】



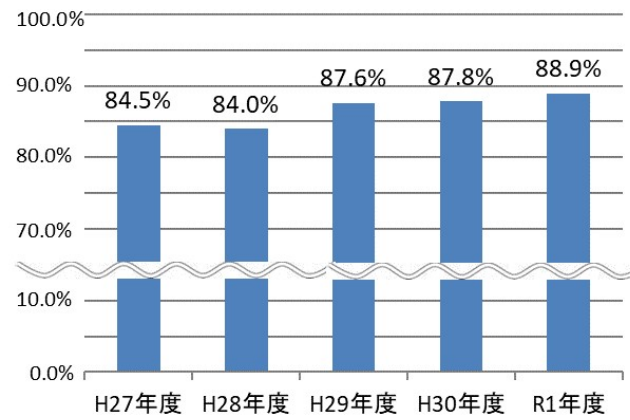
糖尿病の有所見者(HbA1c5.6%以上)割合が改善しています

前橋市は全国と比較して糖尿病の有所見者割合が高く、平成26年度から糖尿病対策に取り組んでいます。



歯科保健

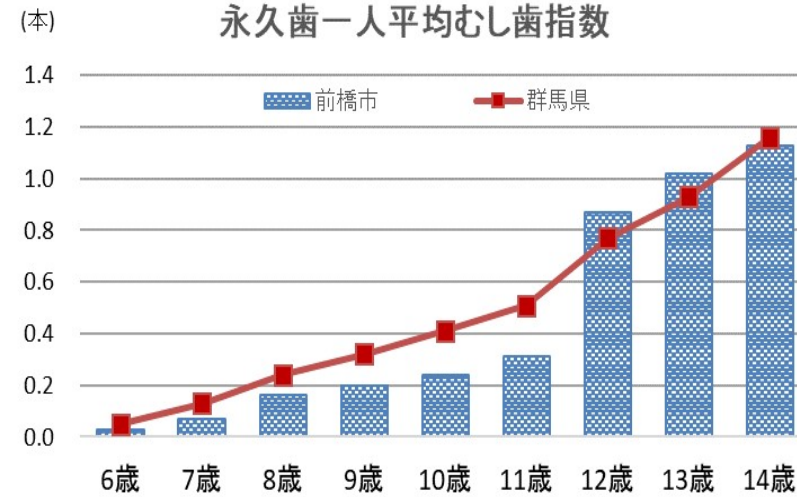
むし歯がない3歳児の割合



3歳児健診では、歯科衛生士による口腔衛生指導を実施しています。むし歯がない3歳児の割合は増加しています。

妊娠中の歯周病は早産や低体重児出産のリスクになると言われています。母子健康手帳交付時に受診券を渡し受診勧奨しています。

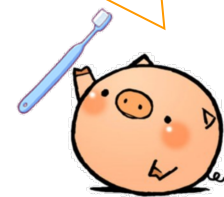
永久歯一人平均むし歯指数



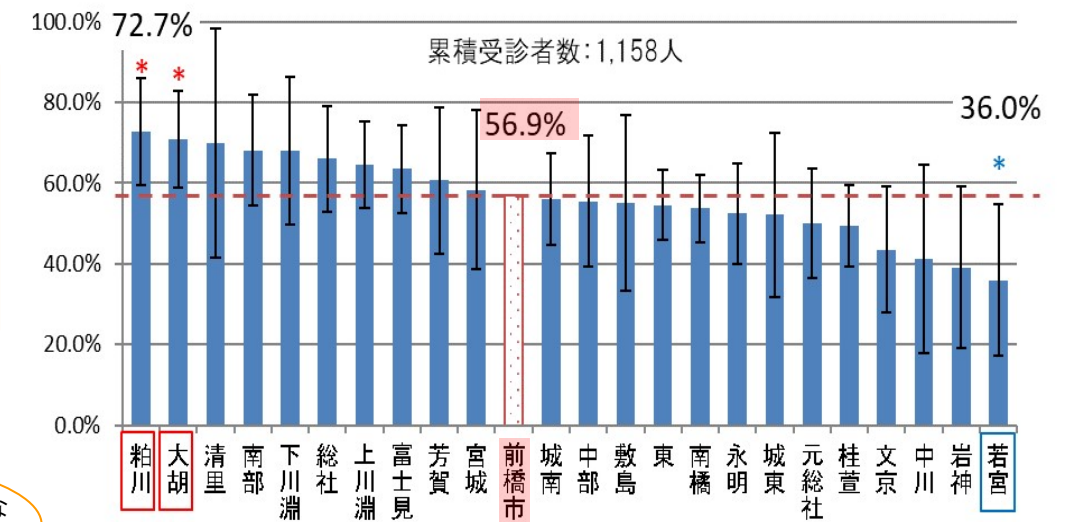
学齢期になると、むし歯や歯肉炎が増加します。特に12歳を境に、一人平均むし歯指数が県平均を超えます。

少なくとも10歳頃までは仕上げみがきをし、正しい歯みがき習慣を身につけましょう！

かかりつけ歯科医による定期的な歯科健診が大切です！

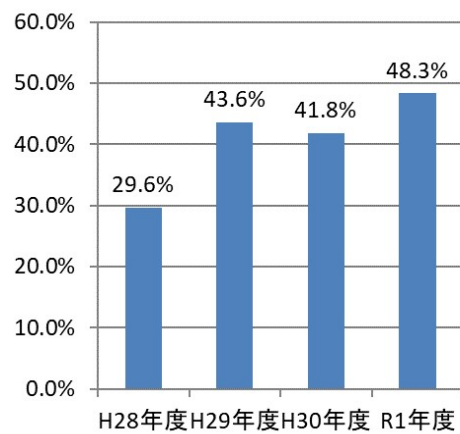


成人歯科健診 60歳で進行した歯周病がある者の割合 (H27～R1年度累積)



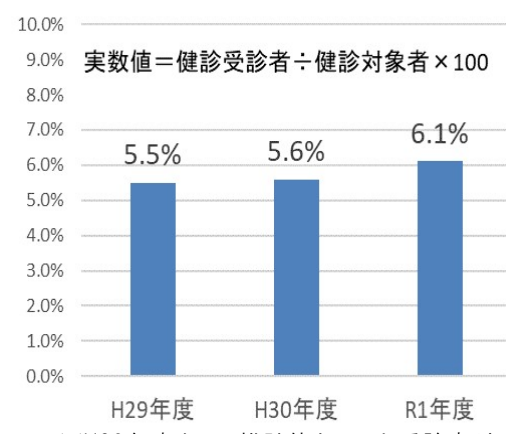
歯周病とは歯を支えている歯肉や骨が壊れる病気です。成人が歯を失う最大の原因です。痛みがなく進行し、歯を失うだけでなく、細菌が血液や肺に入り込んで全身にさまざまな悪影響を及ぼします。特に糖尿病との関連は深いことがわかっています。痛みがなくても、半年に1回は、歯科健診を受けましょう！

妊婦歯科健診受診率



高い順に並んでいます

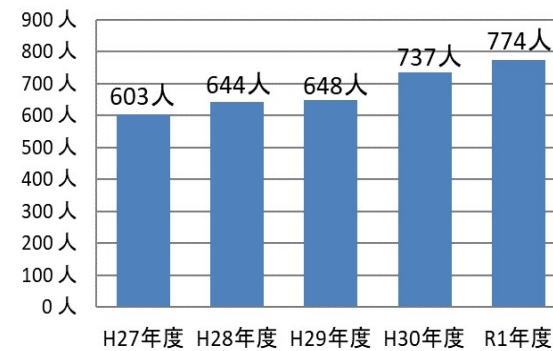
成人歯科健診受診率(実数値)



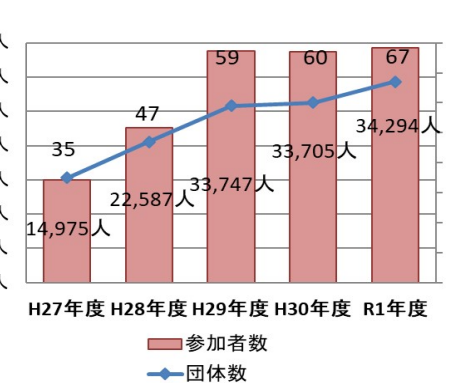
※H29年度までは推計値を用いた受診率が各種報告で公表されています。

高齢・介護

介護予防サポーター活動者数



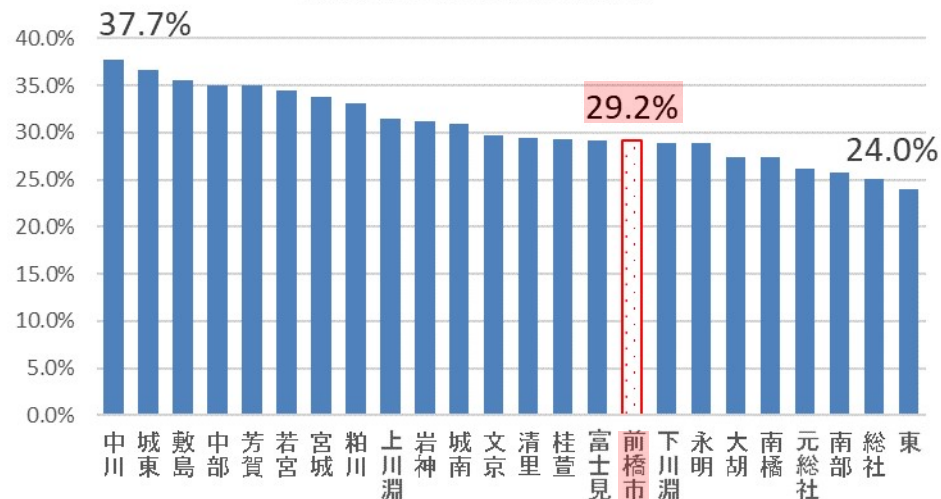
ピンシャン体操クラブ団体数・参加者延べ数



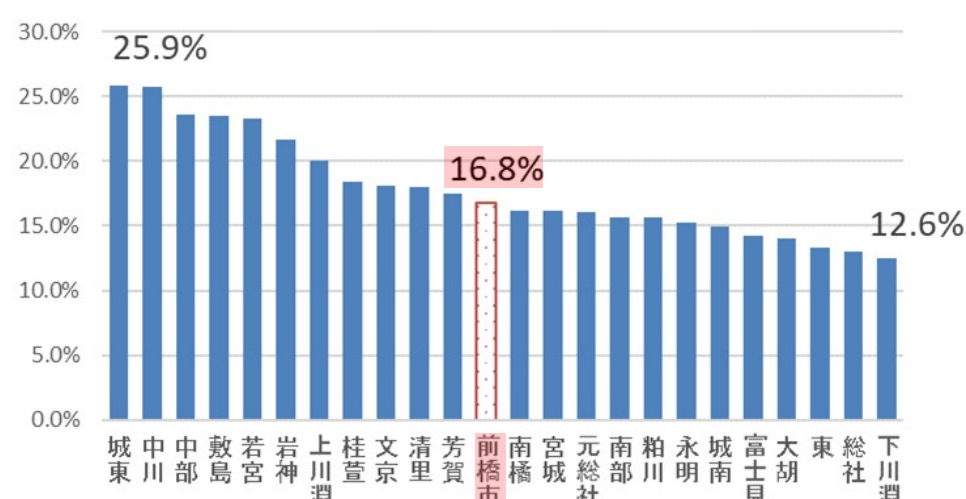
介護予防サポーターは、「いつまでも自立した生活を送ること(介護予防)」の大切さを理解し、知識を習得して地域で実践しているボランティアです。

ピンシャン体操クラブは、介護予防サポーターが担い手となり、地域の公民館等で月2回以上ピンシャン！元気体操を行う地域の高齢者の通いの場です。いつまでも住み慣れた場所で、いきいきと暮らすために、介護予防に取り組みましょう。

高齢化率【R2.3月末現在】



65歳以上独居世帯率【R2.3月末現在】



要介護認定率【R2.3月末現在】

